

JR奈良おうとくクリニック 来月2日開院



受付ロビー



透析室



エントランス

県初の透析医療ツーリズム



医療法人 應篤会
枝川 篤永
理事長

長い治療時間も快適に

えだかわ あつりのり 昭和17年9月生まれ。45年9月、大阪府立大学医学部卒業。同大第2外科入局。52年3月、同大大学院医学研究科修了、医学博士号取得。平成3年7月、奈良県内で初めて腹腔鏡下での胆石摘出手術。11年9月、法人化(医療法人 應篤会)。専門は消化器科、肝胆外科、肛門科。

省や観光庁が市場調査を行っており、国内でも外国人患者の誘致に積極的な病院も出てきている。医療機器販売業界や旅行業界も医療ツーリズムに着目し、医療法人とタイアップした動きも出てきた。この数年で活発化している。関西圏でも近畿経済産業局が国際医療交流における関西ブランドの構築という観点で、医療分野での経済活性化を考えています。しかしながら、他のアジア諸国に比べて日本は医療ツーリズムの推進が遅れている部分がある。アジアではタイが最も進んでおり、アジアではタイが平成14年ごろから国を挙げて先進的に取り組み、医療産業を成長分野と位置づけています。日本は年間15、20%という最大の成長分野と位置づけていますが、日本はまだまだ発展途上の段階で「これから」という状況です。世界遺産登録されている奈良においても、医療ツーリズムを推進していくという考えです。

奈良東九条病院(奈良市東九条町)を運営する医療法人 應篤(おうとく)会は7月2日、JR奈良駅前の商業施設「シルキア奈良」(同市三条本町)に透析外来と一般外来を中心とするJR奈良おうとくクリニックを開院する。「患者の未来を応援する」をモットーに、最先端の設備を導入し、他府県の医療法人や旅行代理店など他業種との連携による「透析医療ツーリズム」のサービス提供を目指す。枝川篤永理事長(69)は、同クリニック開院で目指す事業展開について聞いた。

「いよいよ7月2日、JR奈良の『篤』で育ててもらったJR奈良おうとくクリニックが開院します。地域の医療で、今のお気持ちを分かってくれたいです。このたび、JR奈良駅前に直結する、奈良市が管理運営の商業施設「シルキア奈良」の2階に、外来透析20床と内科、整形外科、足(くつ)外来、外科開院。現在はベッド数60床を有し、地域に根ざした医療を提供しております。このたびは、透析外来と直結する、奈良市が管理運営の商業施設「シルキア奈良」の2階に、外来透析20床と内科、整形外科、足(くつ)外来、外科開院。現在はベッド数60床を有し、地域に根ざした医療を提供しております。

「公の教育で皆さまに育てていただいたことを、しっかりと地域社会を照らすことを目指しています。わたしたちは、奈良市立大学と連携して奈良市立大学医学部付属病院から奈良の地で開院しました。初めて奈良を訪れた時ですが、東大寺南大門の大きな柱に腕を回しました。その時に手に感じた木のぬくもり、古代から脈々と受け継がれた当時の人々の息遣いや人を包み込むような優しい空気に触れたとき、その思いが忘れられず、古(いにしへ)の奈良へのあこがれになったのでしようか、この地での開業につながったのだと思っています。」

最先端装置で旅行気分

透析室には適度な間隔で配置されたチェアに仕切りを設け、プライバシーに配慮。落ち着いた雰囲気の中で透析を受けられる。室内でリラックスして治療を受けることができる。チェアとベッドにはそれぞれ個室を設置。透析専用送迎や無料契約の地下駐車場もあり、駅直結の利便性の高いクリニックとして開院する。透析機器は東レ・メディカル社製の最新装置。電動リクライニン



チェア



チェア個室



透析待合室



診察室

【店舗面積】約457平方メートル
【人工透析】20床(チェア15床、ベッド5床)、個室各1室、東レメディカル社製の最新透析装置、各チェア備え付け19インチテレビ(ビデオ・オン・デマンド対応)、iPad貸し出し(透析患者)
【一般外来】診察室2室、処置室1室、レントゲン室(標榜科)一般内科、整形外科、人工透析内科
【開業日】平成24年7月2日
【所在地】ホテル日航奈良内「シルキア奈良」2階(奈良市三条本町8-1)

患者の未来を応援

「透析医療の現場で注目されている患者の未来についてお聞かせください。医療ツーリズムは世界的にも成長市場として注目されており、平成21年には閣議決定された新成長戦略の基本方針にも取り組みを推進していくことが盛り込まれています。経済産業

iPadを提供/ビデオ・オン・デマンドで映画配信



「少子高齢化を背景に医療費の抑制傾向で経営難を余儀なくされている医療機関が多くなっています。医療法人と自治体との連携、高品質で新たな医療サービスの提供が考えられ、地域経済の活性化につながる可能性を持っています。特に透析患者にとって、旅行は非常にハードルが高いといわれています。しかし、本クリニックでは透析治療を一般的な方と変わらない普通の生活ができるように、国内の内外を問わず、すべての透析患者の皆さまに最先端の透析医療を提供したい。さらに、1300余年の歴史を有する古都・奈良の観光資源を有効活用しつつ、奈良市や全国の透析クリニック、そして旅行代理店など協力して、奈良発信の医療ツーリズムを推進していきたいと考えています。」

地域を照らしたい

「最先端の医療サービスの提供など、奈良東九条病院を母体として、最新医療にも取り組んでまいりました。おかげさまで患者さん、医師として医療の最前線に立ちたいです。少子高齢化が進むなか、地域の医療の役割はますます重要性を増しています。医療機関に求められているのは、安心から求められているのは、安心して医療サービスを提供できること。わたしたちは奈良市立大学と連携して奈良市立大学医学部付属病院から奈良の地で開院しました。初めて奈良を訪れた時ですが、東大寺南大門の大きな柱に腕を回しました。その時に手に感じた木のぬくもり、古代から脈々と受け継がれた当時の人々の息遣いや人を包み込むような優しい空気に触れたとき、その思いが忘れられず、古(いにしへ)の奈良へのあこがれになったのでしようか、この地での開業につながったのだと思っています。」

奈良東九条病院 〒630-8144 奈良市東九条町752 TEL0742-61-1118

温かい心でやさしい医療
信頼とやすさ
そして安全で安心な医療を提供します
内科・外科・整形外科・消化器科
リハビリテーション科・放射線科・肛門科
診療時間
月 火 水 木 金 土 日
午前 9-12
午後 18-20

医療法人 應篤会
先代々々医療人としての家系を継ぐ理事長枝川篤永の一字を取って、「医療を必要とする人々に、応える」という意味と同時に、その人たちの人生のものを応援する、と想い、気持ちを込められています。理事長枝川篤永の座右の銘でもある「照(一)耀(一)是(一)國(一)」の言葉通り、社会の片隅にいたとしても、自分がいる場所や置かれた立場で、社会の一隅を照らす人こそ何物にも代えがたい。この「今」自分がいる場所や置かれた立場で、「一杯の力、明るく光り輝く」ということはそれぞれ人間の生き方です。これは医療を提供する我々医療人だけではなく、医療を必要とする患者の皆様とも共有できることだと思います。

JR奈良 おうとくクリニック 〒630-8122 奈良市三条本町8-1 TEL0742-32-0109
患者様の未来を応援する JR奈良おうとくクリニック
7/2(月)開院!
内科・外科・整形・足(くつ)外来・人工透析
温かい心で優しい医療
最先端の透析治療と設備